

文章の表現ジャンル

表現ジャンル別に、形式が培われ、共通の構造をもつようになった。



●文章スタイルは大きく、論文形態、エッセイ形態、小説形態に分類される。

評論、報告文は論文形態と類似する。論文は学会等の習慣的表現が強く現れている場合が多い。

●日記文は、読者を意識して書かれた場合と、誰にも読ませる意識がない場合によって、表現形態、論旨構造が違ってくる。ここで区分しているのは、読者を意識しているとして分類した。

●職業文は職種によって表現構造が異なる。概して、その職種外の人には読みにくい。

■の枠内で表現されている組み合わせが分かりやすく読みやすい文章になる。

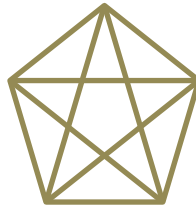
論理構造のある文章

論理構造のない文章

論理が単数構造の文章

論理が並列表現の文章

論理が複数構造の文章



命題が明瞭な文章

命題が曖昧な文章

命題が不明の文章

因果関係が明瞭な文章

因果関係のない文章

表現技法の優れた文章

表現技法の拙い文章

●手紙文は個人の習慣が良く現れる文章である。ジャンルに分類されるような特定の表現構造を持たない。

●挨拶文は形式に則っている場合が多く、無味乾燥なイメージを受けやすい。読み物としては最下位のレベルである。